

常石造船、中国で新開発の2700TEU船初受注

Edited By LogisticsToday On 2015/11/18



常石造船は17日、同社が開発した2700TEUコンテナ船を常石集団（舟山）造船が初受注したと発表した。

新開発のコンテナ船は、既存の1020TEU型と比べて速力をおよそ2割高めた21ノットの常用速力を持つ。2018年から常石集団（舟山）造船で建造する。

常石集団（舟山）造船は、ばら積み貨物船など従来の船種・船型に加え、今回の2700TEUコンテナ船を投入することで、中国国内の新規顧客開拓を視野に入れ、常石造船と連携して国内外で営業活動を強化する考え。

■2700TEU型コンテナ運搬船の概要

長さ×船幅×深さ：200メートル×35.2メートル×16.8メートル

載貨重量トン：3万3200トン

総トン数：2万8500トン

主機：MAN B&Wディーゼル機関7G60ME-C9.5

航海速力：21.1ノット

建造工場：常石集団（舟山）造船有限公司

Article printed from Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト： <http://www.logi-today.com>

URL to article： <http://www.logi-today.com/200425>

Copyright © 2020 Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト. All rights reserved.